

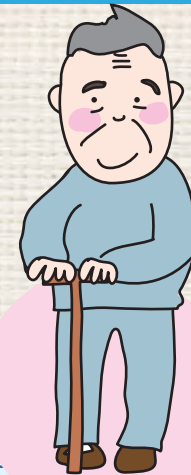
# 「岐阜県がん地域連携パス」ってなあに？

専門病院とかかりつけ医が連携して、よりよい治療を！

患者さん個々の**診療計画書**を

**治療に関わる病院や医師の間で共有し活用**することです。

がんと診断された患者さんの入院治療、検査、食事指導、安静指導、退院指導など、基本的な治療スケジュールをまとめたものを「診療計画書」といいます。入院している病院の中だけでなく、退院後は専門病院と地域のかかりつけ医の間で活用するものです。通称「がん地域連携パス」といいます。緩和ケアを必要とする患者さんには、**緩和ケアのパス**があります。



## 【診療計画書】

入院から退院、在宅までの診療・検査・経過・指導内容など、治療計画をまとめた情報書



## メリット

- ①退院後も、入院していた専門病院とかかりつけ医の共同した診療を受けることができます。
- ②定期的に専門病院での診療や検査を受けることができます。
- ③必要であれば、すぐに専門病院へ紹介され、診療を受けることができます。
- ④診療情報は、専門病院とかかりつけ医に相互に伝わり、治療経過をどちらの先生にも理解してもらえます。
- ⑤通院の負担（待ち時間、遠くへ通う）が軽くなります。
- ⑥在宅療養についての情報を関係スタッフで共有することができます。

## 入院

### 専門病院

急性期における緊急・高度な医療  
専門的な診療・検査



●がん地域連携パスの説明と同意

がん地域連携パス

診療情報を提供 定期的

緩和ケアのパス

## 通院～生涯の健康管理

### かかりつけ医

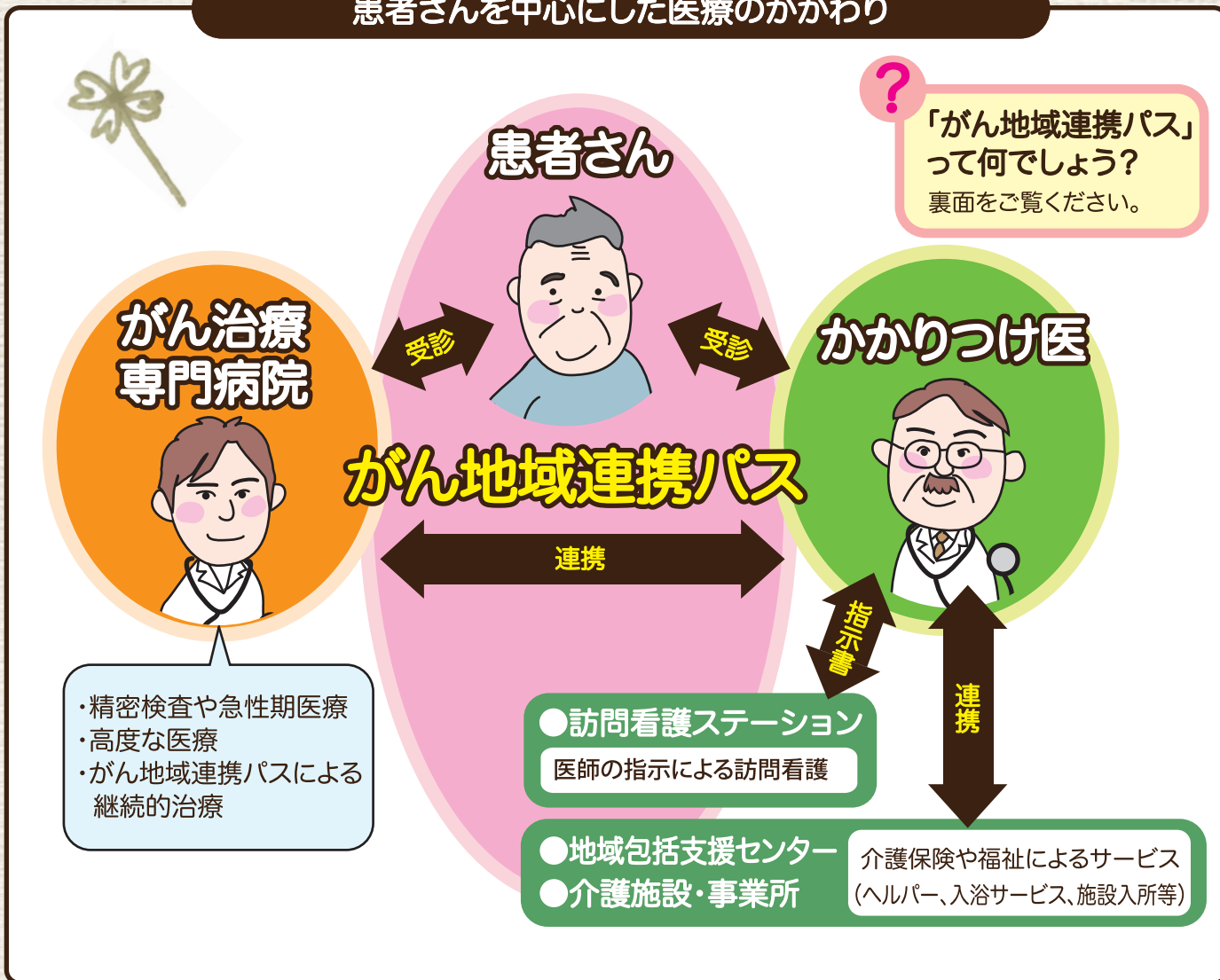
日常診療・生活指導  
定期受診・検査  
専門医へ紹介

まちの医院



# あなたのために かかりつけ医を持ちましょう

患者さんを中心にした医療のかかわり



## がん地域連携パスで スムーズな受診を



岐阜県では、専門的で高度ながん医療を担う病院と、地域のかかりつけ医が「岐阜県がん地域連携パス」によって、医療の連携をしています。専門病院が、診療所など(かかりつけ医)へ、退院時などに連絡をとります。そのため、「かかりつけ医」を持つことで、がんの専門的な治療を継続して受けやすくなります。また、緩和ケアのためのパスを使って病気の状態に応じた治療も受けやすくなります。

